



「変革2027」に立ち向かい、雇用・安全・働きがいのある 「新たなジョブローテーション」を創り出す7・19集会



**安全と生活設計の成り立つ制度にするために
本部と共に施策を「創る」立場で取り組むことを意思統一！**

地本は7月19日、千葉市生涯学習センターにて集会を開催し、乗務員・営業・輸送職の仲間が数多く結集しました。集会では「新たなジョブローテーション」と「賃金制度の改正」について、交渉経過をパワーポイントで解説すると共に、職場の現状や想いについて発言を受けました。

参加者からは「本部-本社間の交渉で、終身雇用と年功賃金の考え方を変更しないことが確認できて安心した」「異動はあっても良いが、今の職種を継続したいのが本音」「不安はあるがジョブローテーションを担い、最終的に地元の職場で経験を活かしたい」「乗務員登用や異動の判断基準を透明化すべき。ブラックボックスでは納得感が持てず、風通しが良くなならない」「公正・公平と言われても、今の会社は信用できないというのが現場の声。これを埋める努力が必要だ」「異常時対応を考えれば、運転士になるには車掌経験が必要」「異動にあたっては、育児・介護や家族との時間を十分に確保にできて、生活設計が成り立つよう、本人希望への配慮を求めたい」など、各々の真剣な発言や感想が寄せられました。

本部-本社間の交渉は8月で大詰めを迎えます。一人ひとりがどのような施策を目指すのかを考え、仲間との議論を深めると共に、交渉での要求実現を目指すためにも、組織強化・拡大を実践して組織力を高めることを意思統一し、成功裡に終了しました。

**交渉経過をしっかりと読み込み、本部交渉団と共に
「働く者の視点」が入ったジョブローテーションを実現しよう！**